

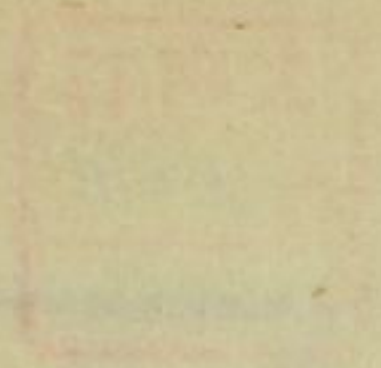
萬葉集略解

十四下

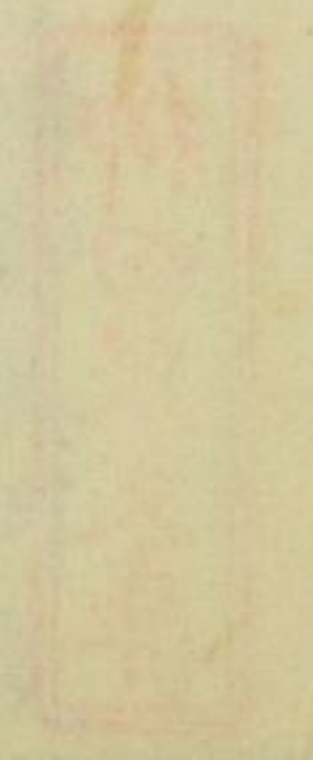


柳田文庫
文庫11
A 104
22





古
 相
 狀
 記
 卷
 之
 一
 第
 一
 回



10 10000

文庫 11
A 104
22

柳田泉文庫

48 10660



相聞

古非思家波伎麻世和我勢古可伎都揚疑宇禮都美可良
思和禮多知麻多牟

いけませわのせこがやつまらうらみうらむらまさん

こいんをハキのうらまきうらんと集申といんといのうらかきう

やまハ垣内柳といし田舎あくまなれどてく小枝のこを柳と柳

ほろろしきまー柳のまのうらまきまのま枝と柳といては

たまま十一あー垣のまのまきうらてまいんといまあり

宇都世美能夜蘇許登乃敞波思家久等母安良蘇比可禰

氏安乎許登奈須那

うつせみのやういものハ志んくもあうらまのねてあまこもなま

そハ歌分の廿中といひて枕詞まあうらまやういものハ八十言の上

敵ヲ故
ニ誤

多禮曾許能屋能戸於曾夫流雨布奈未雨和家世午夜里
氏伊波布許能戸乎

たれがのやのとれそぶるにたなみやせをやさしそこのとを

古事記云八千矛神の内子みをとめの名もやいたを流曾夫良比わら

せれ比許豆良比わらたせはとちりく押用子川用んとするなり

りよなみはひひなめし十一月公の新嘗祭の時八國の庭よりて同

くをこれ比曾國の里長よりのしは庭より集りてこれ比その里長

ちの家のより妻のおとしとを思ひまはる男の戸をとお

いしつんとする時と妻のめるるとよかつしこのりせをあらそふと

よみんるをちりくもくあられとすいしと家え房本我は他とよりん

安是登伊敞可佐宿雨安波奈久雨真日久禮比與比奈波

許奈雨安家奴思太久流

あせとらぬあなままいしれてよしまいたなまあけぬた

あせとらぬ何ぞのあまのいしあなまのいしとよのいしや

さるらぬらぬとさるらぬとさるらぬとさるらぬとさるらぬと

あはまなまらしてちめぬあたのあはまのあはまのあはま

わらぬと女のさるらぬと神衣あはまのあはまのあはまの

のあはまのあはまのあはまのあはまのあはまのあはまの

いそんまき大平言思太ハ時とよとよのいしま未あな思太ハ

又うなりけ之太ハまサるれし之太ハまらつるをたてた時え

さてあ朝たとりよハ明る時とよとよのいしま未あな思太ハ

安志比奇乃夜未佐波妣登乃比登佐波雨麻奈登伊布兒
我安夜雨可奈思佐

あし比まのやまははひのいしあなまのいしあなまのいし

山澤と多の移よひの婦して、又まねて人々をよといひ下りて、是れ中
 父母は坤ハまたま子ど、さしをくま、あやめのこほりの大娘の末名^ナを春女
 止^ト戸とらつるよし、くま、庶子をばも家もし他人にかりめ、嫡妻の子
 をまをむまの、とくしをくたをむ、その女こそもづるう、ちかれ、
 くら、かたより、海く思、こい、とあいてれき、それと伝ふる、ぞ、
 麻等保久能野雨毛安波奈牟、已許呂奈久佐刀乃美奈可
 雨安敵流世奈可母
 まどはりのぬおもあいたん、こらな、く、ものみ、た、ま、あ、る、せ、れ、の、も
 せい、初め、く、ま、い、こ、こ、の、み、ち、中、へ、よ、ま、か、み、う、け、ぬ、ま、ど、の、た、ど、り、川
 海、ま、い、る、あ、を、な、く、し、し、の、み、く、と、い、つ、ま、い、ら、
 比登其等乃之氣吉爾余里氏、麻乎其母能於夜自麻久良
 波和波麻可自夜毛

ひもとのまをきしよやめて、またま、こい、の、た、や、ま、あ、る、く、わ、い、ま、あ、り、や、し
 ま、い、ら、く、し、し、の、み、ち、中、へ、よ、ま、か、み、う、け、ぬ、ま、ど、の、た、ど、り、川
 大、河、平、小、ま、い、く、小、管、小、篠、の、小、の、た、や、同、ど、ん、わ、い、ま、あ、る、く、の、た、
 人、言、の、あ、い、さ、ま、よ、わ、て、同、姓、と、せ、ま、い、ん、や、い、ん、ま、い、け、ま、い、し、音、夜、せ
 む、こ、た、ま、や
 巨麻雨思吉比毛登伎佐氣氏、奴流我倍雨安抒世呂登可
 母安夜雨可奈之伎
 こ、い、り、ま、い、し、ま、い、け、く、ぬ、ま、い、ら、く、あ、い、ま、あ、る、く、わ、い、ま、あ、り、や、し
 言、衆、海、の、但、ま、い、ら、く、海、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、
 衣、ま、い、ら、く、の、勤、ま、い、ら、く、ぬ、ま、い、ら、く、の、ま、い、ら、く、の、ま、い、ら、く、の、ま、い、ら、く、
 せんとて、い、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、
 せんとて、い、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、ま、い、ら、く、

麻可奈思美奴禮婆許登爾豆佐禰奈敵波已許呂乃緒呂
爾能里氏可奈思母

まかのなみぬれむらじづねまぶらうのをらふのめてかたし

麻河お夜れ人らよひぬらふこねまぶらうのせに敵波夜ねは

是と奈敵とてあはれろのろハ御祥もく徳ハわけつたうらふま

せんはゆくいづるあまぐさをとまハそのたぐのめハ孝まのよ

りちちり

於久夜麻能真木乃伊多度宇等抒登之氏和我比良可武

爾伊利伎氏奈左禰

おくやまのまきこのつとまごごごてわがひらうんはりまそなや

おく山の松河さよハあく捨たりよこハ男のたを叩くまごごこの句

ふく切くま同らんやハ女のひらうんまハあまぐ夜よといえ

夜まごのちほくまご夜周伊斯大末作農古子記ハ子身神の伊遠
斯那世まご

夜麻抄里乃率呂能波都乎爾可賀美可家力奈布倍美詩

曾奈爾與曾利雞宋

やまがりのをろのはつとまがみよけなまぶみそなたまよそわめ

和名抄山雞一名鷓鴣夜万士利云ハ呂ハ御祥まご尾の秀つ尾之屋の

中よあまごをいよから園の魏といやけハ山雞とあひく

又尾のまご候をまごてあまぶよくあつとりのほく一候まごま

つらん段よ津法原藤原まごのほよハかうごを後倍まされ

ハごれハあま紅まごハ男のあハ倍まあまよみまわらまご

とあまハあまごまごまごまごまごまごまごまごまごまごまご

かく申度くまごまごまごまごまごまごまごまごまごまごまご

あまらうらなつしあはるきさいめのみよまなみさうしあをわがさうら
夏のみなとくしづと寝ぬよーをうらこのふたうし伊は枝のほめて
おめのみやとまつし枝葉ハきサあ奇ふ枝葉がうせぞとしいし面ハ
る影と更きしうすくこの次は枝葉よみさうとしいるさくし歌をき
こよハ影よんえつしとあれはうづれし思きしうしとさうしをうし
ど梅おつしあしとをうしうしとあをうしとせんとしうしと中
中しよあをうしとをうしうしとあをうしとせんとしうしと中
我を寝せしめぬとしうしとせんとしうしと中

比登豆麻等安是可曾乎伊波牟志可良婆加刀奈里乃伎
奴牟可里氏伎奈波毛

ひとづまとあせのそをうしとあをうしとせんとしうしと中
あせのそをうしとあをうしとせんとしうしと中

きこのいそしづの衣を借るしとあをうしとせんとしうしと中
このいそしづの衣を借るしとあをうしとせんとしうしと中

左努夜麻爾宇都也乎能登乃等抱可騰母禰毛等可兒呂
賀於由爾美要都留

さぬしハ地名なるうしとあをうしとせんとしうしと中
さぬしハ地名なるうしとあをうしとせんとしうしと中
斧うしとあをうしとせんとしうしと中
遠をうしとあをうしとせんとしうしと中
枝母よんえつしとあをうしとせんとしうしと中
ねんそのとあをうしとせんとしうしと中
むらうしとあをうしとせんとしうしと中

宇惠多氣能毛登左倍登與美伊依氏伊奈婆伊豆思牟伎
氏可伊毛我奈藝可牟

うゑたけのこもせんとよみいでいなるいづりまきてのいづりなきいん

植はすいきてまるといふまに大河原の宇惠具佐とて風は竹の葉の

もりそむをといふまにむとといふりもいふまにむとといふりもいふまに

を流くりつていづりいづり防人のまをりつていづりいづりいづり

なきいんいたまげんいよまああるうのいづりいづりいづりいづり

この娘がなまの年といふいづりいづりいづりいづりいづり

古非都追母乎良牟等須禮行遊布麻夜萬可久禮之伎美
乎於母比可禰都母

こひつしとらんといふれいづりいづりいづりいづりいづり

昔十二族のあふりまをいづりいづりいづりいづりいづり

倣_フ倣_ニ

宇倍兒奈波和奴爾故布奈毛多刀都久能奴賀奈敝由家
婆故布思可流奈母

うへこなわぬまもあしたとくのぬがたゆけはらうこのるなも

うこなる、諸子等者いづりいづりいづりいづりいづり

をまをよわぬとらうまうたつこのいづりいづりいづりいづり

ぬがたえゆけいづりいづりいづりいづりいづりいづり

このるなもいづりいづりいづりいづりいづりいづり

其ぬれどいづり

或本歌末句曰努我奈敝由家行和奴賀由乃敝波

此歌由の下可のまをいづりいづりいづりいづりいづり

いづりいづりいづりいづりいづりいづりいづりいづり

倣_フ倣_ニ

賀由ハ由賀を下ヨシテ凡クワケヨリナバニナリモトシテ

安都麻道乃手兒乃欲婢佐可古要成伊奈婆安禮婆古非
牟奈能知波安比奴登毋

あづまぢのたごよびせうごうていもあはれいんたのちあひぬよし

たごよびはまむもてり人の別ふ三時まゆゆれいん等十二みごころ
しやまとも毎のこぶとさばうしやうりん及にあひぬよし

等保斯等布故奈乃思良禰爾阿抱思太毛安波乃敬思太
毛奈爾已曾與佐禮

とほらよこのまむあなまきぶりたのよこせよせくれ
えーとうすとまむめいんこまのまふれいんあまきく人のりづれ
あまきく一ハニエりあまきくうんじんていれれとむなうとまき
かしまはれいんやうゆりていんていんあまきくまきくまきくまきく

安可見夜麻久左禰可利曾氣安波須賀倍安良蘇布伊毛
之安夜爾可奈之毛

あのみやまみほがめさけあたまをいあらまひふあまこのたりも
あのみははれえよよひのまを列座るあまのの勝をよけく遠ラと
あまのあまのの波ははれく相なるらうらむ倍のまのうのうと思
くみらよまのまのまのねほ我倍あまのまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

歌ヲ歌ニ
誤毛乃
不ト有
誤

於保伎美乃美已等可思古美可奈之伊毛我多麻久良波
奈禮欲太知伎努可母

ねはまののみまがこみかなしいものたまきはされよもきぬいも

防人のま時のうららゆ、まほくまきふんぬれのせきまを、うら

よもるたふり、らぶらる夜まきとあめは、空もいよぶら役のうら

とらり

安利伎奴乃佐惠佐惠之豆美伊敝能伊母爾毛乃伊波受

伎爾氏於毛比具流之母

あゆぎあのみとくまづみらのいよものいよまきまて、わひいごり

柿本朝臣人麻呂歌集中出見上已詮也

孝也珠衣の授籃左謂まづ、家の跡よりいよもきまて思金津裳

とあつてまて行せり、人麻呂家集の此撰より及ぶおれらおとあ

此ハ世をよきまを載るをなるといふ、くま毛乃乃と有、誤るべの乃ナ
は條々ハ誤の途とを度本記よぶ

可良許呂毛須蘇乃宇知可倍安波禰村毛家思吉已許呂
乎安我毛波奈久爾

かろころも、くそこのうららぶあはね、うららまき、くまあがも、はとせ

卷十一粒新よき方の生ぬ、幸衣禰のあをきつて、くまなれ、くま、
て、くへ、村人の衣の禰、あは、くま、くま、くま、くま、くま、くま、くま、
各々、くま、のちれ、くま、くま、くま、くま、くま、くま、くま、くま、
或本歌曰、可良已呂母須素能宇知可比、阿波奈敝渡禰、
奈敝乃可良爾許等多可利都母

あは、くま、が、あり、ね、くま、の、くま、くま、くま、くま、くま、くま、くま、
言痛

言痛

とらふもあまのついでにあまのついでにあまのついでに
宿奈奈大寺のついでに

於布之毛等許乃母登夜麻乃麻之波爾毛能良奴伊毛我
名可多爾伊氏牟可母

ねつせよの力もあまのまじりのついでにあまのついでに

おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに

のこなるふしとあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに

安豆左由美欲良能夜麻邊能之牙可久爾伊毛呂乎多氏
天左禰度波良布母

あまのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
おつとむの生繁本の男も等々も等々も等々も等々も等々も等々も
集登おはるるついでにあまのついでにあまのついでに
ねつせよまじりのついでにあまのついでにあまのついでに
御敷のまじりのついでにあまのついでにあまのついでに

を挿く娘がよきものをよろこぶと云

安都佐由美須惠波余里禰牟麻左可許曾比等目于於保
美奈乎波思雨於家禮

あつてゆみよるるよゆねんまやこのきいよめをおほみなをはひおくれ

あつてゆみよるるよゆねんまやこのきいよめをおほみなをはひおくれ

あつてゆみよるるよゆねんまやこのきいよめをおほみなをはひおくれ

柿本朝臣人麻呂歌集出也

楊奈疑許曾伎禮婆伴要須禮余能比等乃古非爾思奈武

辛伊可爾世余等曾

やなきこそまきれはをるをれあひのひのいしよまをんをいひせよとぞ

柳ハ成ていといこもえの生もれをれいりせの人ハ別れをいよ考七^{枝ハ}あ

られちりやあみのおり川柳竹れとく又い柳よとよあは川柳

乎夜麻田乃伊氣能都追美雨左須揚奈疑奈里毛奈良受
毛奈等布多里波母

ちやまめいけのつみふさよたすなめしあうどうなとあつあは

柳枝ハてらよらん根つるそ生葉ゆも生とたるといひて葉の葉子

いひなせめそそ秋中の終ふ葉ゆも生とたるといひて葉の葉子

いひなせめそそ

於曾波夜母奈乎許曾麻多賣牟可都乎能四比乃故夜提
能安比波多家波自

おろちやしたもところまめあむつたのまひのこやでのあひたけい

まきこし遠くしし砂とこそまめあむこやでハ小枝へたけいハたけい

根の枝さうかや一葉うり今を思ふまよいひうらうらとあひをれきささ

ハ根ハまきとるこくな枝まてしうく葉のゆく小枝とたうる物たるあま

とよき人のたよりをせむい威本の討はるしそりてま芽のゆるすく
も芽のゆるすくしそりてい

或本歌曰於曾波也母伎美乎思麻多武牟可都宇能思
比乃佐要太能登吉波須具登母

たよりの字をのぼりよき

兒毛知夜麻和可加敝流氏能毛美都麻氏宿毛等
布汝波安行可毛布

こもちやまわのかるそのかみつぎねおとわいそよなへあとのそよ
こもち山坂をん美かるそへを楓の芽のゆるすといひくそりてわり

ちりるまのりよん下八層人そあひあつと油へゆるすのわりあつとわり

和名抄雜冠木 賀信天乃木辨色立成云雜頭樹

和名抄雜冠木 加比苗提乃木今紫是一木名也 考ハ多やどニ黄髪撥

伊波保呂乃蘓比能和可麻都可藝里登也伎美我伎麻左
奴宇良毛等奈久毛

いばほろのりひのわのまがぎやよやまみのちまよぬらうらむちまよ

よは伊香保呂能蘇比乃波里波良とよあまのりや、毛祖の方の中

ゆねあまをを限もく、ゆへ崖ちれば、そひの若ね限もく、りゆゆ、此伊

波保の波は何をの字の保れもく、伊何保まやまつくん、次のあのみ知

婁太奈乃しりし、あまの武蔵の橋樹助の介は、まえぬ、このし、武蔵

ちまよ、そ次の安波平呂も安房岡の岳とやえ、お度必周示の知

られぬをまやしりし、まがぎやよ、よれちい上野のひの保、まよ、まよ

上八限りしりし、序もく、男の危し、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ

ことおのゆる、字も、上二句限りの序より、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ

まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ

まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ、まよ

このくしり

多知婆奈乃古婆乃波奈里我於毛布奈牟已許呂宇都久
志伊氏安禮波伊可奈

たちをたのこばのちなめおおそちんころうころいであれいのさ

和名抄武蔵橘樹郡橘樹多知は奈そと古婆も里の名ちまぶーはちりり重

女のうちあもあつとりうよまおおちんいれちらんいああちらんとい

をなんといつゆこれあゆらうらハちまといであれいのちハと吾も

律人

可波加美能禰自路多可我夜安也爾阿夜爾左宿左寐氏
詩曾已登爾込爾思可

かたあみのねるたのやあやふあやまねあてこそこふであいの

かいつしとて何のぶちまこ根自みねのハ川の岸よまねねるわいのよま

洗をねく本の江く尺ゆかと根江といりちんもてかとおをくハ
かやあやとととまねる序んあやハあをくいま同じ歌く詞うま
まねいつあさハ夜ま寝てこそ人まよひゆられとて可ハ寝く
上のこそといとて結り

宇奈波良乃根夜波良古須氣安麻多阿禮婆伎美波和須
良酒和禮和須流禮夜

うなばらのねやうことばあまふあまきみハわさるもわねさるれや

此はづハはをことらうやうハ整仲ハ浦原よまこ若ハ海くあいて根

のわうらまをといりしとち又まらまも若川のせぐのやはくは格と云

やさうら泥のまをといりしとち又まらまも若川のせぐのやはくは格と云

されハ寝おらこまといりしとち又まらまも若川のせぐのやはくは格と云

あまこあれぐハ古くまらまも若川のせぐのやはくは格と云

留安乎許等奈多延

あはさるのさるたなれらるたをびづらひのぬるあをこもやうい
 あつとハ安房周の各るぶーらハ助辨も岳の麓の田よまゝの目ら
 せさるまねがれさるこいあたごづらむらうへ同いさしんあめ
 むゆとつらハ紙字達ア武藝のま麻川とまは安川とつらあ
 磨と安の湯とあまをアこづらハ真夢されば即むらうつとた
 をこづらとらあるぶーまらひいせらまのねさるまられまらつ
 さしつらめく遠もれらつらひらぬらりの物よまらあこま
 こまハ吾と言英絶えなるそらとらぶささくとまらハおらまら川
 むらひのほへたつらつものさあの夜もれねあまんの考へー
 和我目豆麻比等波左久禮村安佐我保能等思佐倍已其
 登和波佐可流我倍

万解十四下 十七

わらまじしんかんれねあむらひのさーあんととわらあむらひのさーあ

まじまは真妻入あむらひのさーあんととわらあむらひのさーあ
 ろかへんハ其登ハこぞとつ訓て年よまらまらむらひのさーあ
 むあーとつらあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 むらひのさーあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 と別女のうたも人よあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 こづらの年とつらあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 ひら向とつらあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 さく同い向はの例はあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ
 向ハ神向の序ハ考へまらぶー目豆麻比つらあむらひとつらあむらひとつらあ
 ま目妻とつらあむらひとつらあむらひとつらあむらひとつらあ

安齊可我多志保悲乃由多雨於毛敝良婆宇家良我波奈

乃伊呂爾氏采也母

あせがたまひのゆふちつらづけらぶをまのいろよどんやも

四河あきうあれど齊とまのころは用ひはちりあまの地名ちん

は千は海このまふん月雲のまをな波子のあふんこのまのま

ふきふハカと、おてらよ少歌りれいあまのうきうきうの波

波流敞左久布治能宇良葉乃宇良夜須爾左奴流夜曾奈

伎兒呂宇之毛倍婆

はるせくまのうらぶのうらもあまのまがたまこころをいそぐ

うらむハ末をまよとらうやとらうらん存らんらんらんらんらん

子等と思へばは機まよまのまをまのまのまのまのまのまのま

もりくあまのまんとあまのまあまやまのまらん

宇知比佐都美夜能瀬河泊能可保婆奈能孤悲天杳眠良

武伎曾母許余比毛

うちやつみやのせいのかぢあひのこひてあめらんまがたまよひも

うちいさら梅のうらひさらうらとつとあせりよま十三打久津三

宅の原とよありかぢあひあまきぬまのまのまのまのまのまのま

極まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

まのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

横はむらげるといふまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

よらちを

爾比牟路能許騰伎爾伊多禮婆波太須酒伎穗爾氏之伎

美我見延奴已能許呂

みひまののまよひつれがまよまほまどまよみびるあいのこら

多雨世婆美彌年雨波比多流多麻可豆良多延武能已許
 呂和我母波奈久爾
 たふせをみよねよをひたるたまのづらたえんのこころわのもしいなとふ
 多雨(じ)婆(み)彌(ね)年(ね)雨(あ)波(は)比(ひ)多(た)流(りゅう)多(た)麻(ま)可(か)豆(ま)良(ら)多(た)延(えん)武(ぶ)能(の)已(お)許(もと)

敵ヲ
 誤
 敬

芝付乃御宇良佐伎奈流根都古具佐安比見受安良婆安
 禮古非采夜母
 志をすまのみうらざきたるねつごらあひみどあぶあねいめやし
 和名抄相模三浦郡三浦つとむくしとを芝付よりつとむくしとを三浦の
 一おつごらあひみどあぶあねいめやしとを三浦の
 多夫須麻之良夜麻可是能宿奈故孺母古呂賀於曾伎
 能安路許曾要志母
 たくぶとよまきつやまのせめねあふぶいころあふさぎのあふさぎ
 たくぶとよまきつやまのせめねあふぶいころあふさぎのあふさぎ
 てよあるたふさぎとよまきのあふさぎのあふさぎのあふさぎのあふさぎ
 るとよまきつやまのせめねあふぶいころあふさぎのあふさぎのあふさぎ

夏比と云ふ

美禰良由久君母雨毛我母奈家布由伎氏伊母雨許等村

比安須可敝里許武

みそらゆくわにむさしたまゆきそいふこといひあまかてあらん
かのつととよしりつ防人のあまらんま四みなりきまはむがさるる
くおをすよりるあまりて妹よこといひまもはせゆるあくとく

安乎禰呂雨多奈婢久君母能伊佐欲比雨物能安乎曾於

毛布等思乃許能巳呂

あをねるたまびくこのいよあひまをそがゆりよこのごころ
青春えりあゆみまのまやあきあつてまをりて布とせうとく
計古ののころは年ころるといふほど物能の不安は折文

比登禰呂雨伊波流毛能可良安乎禰呂雨伊佐欲布久母

能下安
折文

能與曾里都麻波母

いとねるよいかもこのあをねるよいかもこのあをねるよいかも
いとねるよいかもこのあをねるよいかもこのあをねるよいかも
いとねるよいかもこのあをねるよいかもこのあをねるよいかも
いとねるよいかもこのあをねるよいかもこのあをねるよいかも

由布佐禮婆美夜麻乎左良奴雨努具母能安是可有要牟

等伊比之兒呂婆母

ゆすれびやまももふにぬるあせもたるといひころらるも
美山の真山うはむらほのあをま布りていひけりていひまも
ぬれをふれいひあままのあ布りていひけりていひまも
るといひぬれいひあままのあ布りていひけりていひまも

多可伎禰爾久毛能都久能須和禮左倍爾伎美爾都吉奈
那多可禰等毛比氏

たのまはなるものついのことをわねぬよまなよきあたまのねとまひて
 ねいハちこそころり若やんんもよ信くわれよくのりゆつとてハハハハ
 んとねよまおひらもとまきかひひていとい

阿我於毛乃和須禮牟之太波久爾波布利禰爾多都久毛
牟見都追之努波西

あがおもこのわとれん志たふまよきあたまのねとまひて
 我面のとれん志たふまよきあたまのねとまひて
 こころをれたれどよついで事十一面形のまもつこころをれたれどよついで
 じ事終つるまもつこころをれたれどよついで事終つるまもつこころをれたれどよついで
 のみ終見たれたれどよついで事終つるまもつこころをれたれどよついで

万解十四下 二十一

對馬能禰波之多具毛安良南敷可牟能禰爾多奈婢久君
毛牟見都追思怒波毛

つゝまのねいさあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 契仲をきくごうたまもあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 せむとくくくとのんごふあごとのりり或人あはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 のまはしりてあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 たまもあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 せむんあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 よあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 ちんあはなるかんのねふたまびくもをみつとねあはぬ
 の花のまもつこころをれたれどよついで事終つるまもつこころをれたれどよついで

どちのよのほくつづつとつれど、いふこと、百の倍、其の倍、
もまれ、は、後、うまうと、いふ、え、む、む、む、む、む、む、怒、官、本、勢、他、波、
一本、婆、他、さ、う、用、へ、

思良久毛能多要爾之伊毛乎阿是西呂等許已呂爾能里
氏許已婆可那之家

ちうちうのたえし、いよ、ま、あ、せ、ら、と、と、る、の、う、て、と、づ、の、た、う、け

き、ハ、必、終、と、ま、れ、が、ま、ら、う、の、と、せ、り、あ、せ、ら、と、と、何、と、を、と、と、と、と、
と、

伊波能倍爾伊賀可流久毛能可努麻豆久比等曾於多波
布伊射禰之賣刀良

い、を、の、へ、い、づ、も、ら、の、か、め、ま、つ、と、ひ、と、を、お、つ、づ、い、と、ね、め、と、ら
ま、ハ、三、の、白、う、下、ハ、後、共、し、も、う、ん、本、ま、う、け、合、ど、可、努、麻、豆、久、の、句、ハ、

との上野新の伊勢保良はあまうといふこと、この句、あ、ま、う、
と、
う、と、

奈我波伴爾已良例安波由久安辛久毛能伊氏来和伎母
兒安必見而由可武

た、め、は、い、よ、と、ら、い、あ、い、ゆ、く、あ、と、と、の、い、て、こ、わ、ぎ、と、こ、あ、ひ、み、て、ゆ、ん
こ、ら、れ、い、噴、ら、う、と、あ、い、ゆ、く、ハ、吾、ハ、行、く、姉、が、許、ハ、ま、う、と、男、と、姉、が、ま、う、つ、け
て、の、し、と、ま、れ、は、ゆ、と、
お、ま、れ、と、ん

於毛可多能和須禮牟之太波於抱野呂爾多奈婢久君母
守見都追思努波牟

お、ま、れ、の、ち、も、い、ん、ま、う、ハ、お、ほ、の、ろ、ま、た、ま、び、と、

大野ろのろに御群より廣野をいひこはよは我れ毛乃としておしるる
 の或なるも一されけりわれ我らと云ふ時をいひておしるるをせし人よい
 八人の名をいふは神れきと云くあぶらと云くいひておしるるをいひて

可良須等布於保宇曾村里能麻左低爾毛伎麻左奴伎美
 平許呂久等曾奈久

かろすとよはほすとよのまをいひておもひまをいひておしるるをいひ

かゝるゝに移といへる平宇に常きま字をいひておしるるをいひて
 うまゝといふ大偽をいひておしるるをいひておしるるをいひて
 平許ヲツ
 此とこれとをいひておしるるをいひておしるるをいひて
 現と平松といひておしるるをいひておしるるをいひて
 うまゝといひておしるるをいひておしるるをいひて
 こゝろといひておしるるをいひておしるるをいひて

伎曾許曾波兒呂等左宿之香久毛能宇倍由太奈伎由久多
 豆乃麻登保久於毛保由

キテこそいふとやぬいふとのいふたをいひておしるるをいひて

伎曾ハ詠哉こゝろハ子をいふといふは字のよきと云ふるをいひて
 太と云ふるはま遠くのまに直也

佐可故要氏阿倍乃田能毛爾為流多豆乃等毛思吉伎美
 波安須左倍母我毛

まゝのこゝろてあべのたのむおるたづのこゝろまゝにあまをいひておし
 後河内屋の坂のまよはれ川より米三つおのち道よりまよはれおのち
 上の序よりおれおをいひておしるるをいひておしるるをいひて
 さしてあまをいひておしるるをいひておしるるをいひて

等夜乃野爾乎佐藝禰良波里乎佐乎左毛禰奈赦古由惠
爾波伴爾許呂波要

とものぬふささきむらばらなまきくもねまぐくゆもよはひふころるはえ
よにまきくくつらんるの帯を帯とあやせんくくばまきくくくく
うづひたるちと田舎うく帯をよのよそれを帯して黙くくくくく
さきまのついの日さくつとさきくくくく即ち帯の帯さくくくく又和名抄
下徳印幡取鳥夫つとさきくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
はらさくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
まきくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
爾よもしたふかうくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
ゆら道ゆくよあるかうくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

左乎思鹿能布須也久草無良見要受等母兒呂家可奈門

欲由可久之要思毛

さきくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
よに帯さくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
よらりゆくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

伊母乎許曾安比美爾許思可麻欲婢吉能與許夜麻赦呂
能思之奈須於母赦流

いもこそあひみふくあまあひまのよくもまべろのまなすおのくる
まらひまの杖向妹くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
よよ小の田のま田のくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
舞くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

波流能野爾久佐波年古麻能久知夜麻受安乎思努布良
武伊赦乃兒呂波母

はるのぬいこをまじこまのちやまがあまふらうらんのこらなも
弱のまをまじうとやみまきとてぬいこはぬいこにたれぬいこ
とらうらんとあまのこらななこ

比登乃兒乃可奈思家之太波波麻渚杼里安奈由牟古麻
能乎之家口母奈思

いよのあかちけいたはままごあわはむこまのをけこたし
まけまごあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
鴨のはやのまよあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
まればたれぬいこをまじうとやみまきとてぬいこはぬいこにたれぬいこ
をいよのあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの

安可胡麻我可度氏乎思都都伊氏可天爾世之乎見多氏
思伊敞能兒良波母

あごまごあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
よ二白馬のてんどの戸口をぬいこまきとてぬいこはぬいこにたれぬいこ
まごあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
をいよのあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの

於能我乎遠於保爾奈於毛比曾爾波爾多知惠麻須我可
良爾古麻爾安布毛能乎

おののあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
於能の妹がみづつこにさし即夫をいよのあまゆむは足悩むこよの
まごあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
まごあかちけいたはままごあまゆむは足悩むこよの
安布といよのあまゆむは足悩むこよの

まゝつせらふのまに後後してゆりくせりしるまゝ

佐射禮伊思爾古馬宇波佐世氏已許呂伊多美安我毛布
伊毛我伊敵乃安多里可聞

とれいふこまをさそせてこころいふあがむいごいへのあつりか
まをせしてまらせてこころいふあがむいごいへのあつりか
よかまにさほ川のされみくくわぬむのこまのさるむあつりか

武路我夜乃都留能都追美乃那利奴賀爾古呂波伊敵村
母伊末太年那久爾

むろがのつるのつみのなめぬまこころいふよまだねなくふ

まをせまの陸奥よこづの池の堤よりえそののさよおはるのやま
よみしつばを陸奥よ有地るんあそつは池をどとをたつり及まの
ハのハ下路とされいむこころいふあがむいごいへのあつりか

一後をくんと意の物およせりてん九米ぬるいごとまおはるのやま
あつりつれどくとまのやませんは池をたつり及まの
あつりつるの池はこころいふあがむいごいへのあつりか

阿須可河泊之多雨其禮留予之良受思天勢奈那登布多
理左宿而父也思母

あすかのぼつふられるをまづりてせあつり及まの

あつりつる大和のゆふはさるぞまのこのわたの池をくはをたつり及
いそれき更級日記をむまるとつあつり及まのあつり及まの
をとおそれいふれどくとまのやませんは池をたつり及まの
川をたつり及まのあつり及まのあつり及まのあつり及まの
妹名祿をのなほの池と同六帖と稱らば座あつり及まのあつり及まの

安須可河泊世久登之里世波安麻多欲母為禰氏已麻思
乎世久得四里世波

あはらあかきせくとまてせあまうよおねてこませとせくとまてせバ
か親るのせきとむとくあふくおねてこまハ率の度てもん
そのとこ

安宇揚本能波良路可波刀爾奈乎麻都等西美度波久未
受多知度奈良須母

あをやまのをらるかよふたをまつとせみどくまをたしとたあせも
柳の芽の生る川ついでと清水もきつはらみあしたらどうすまハ
みとハ汲ど汝と待てまくとあひらみたうてゆきとるをりよ
まよのとこころの男も

阿知乃須年須沙能伊利江乃許母理沼乃安奈伊伎豆加

思美受比佐雨指天

あぢの思もはるものいりえのこまあぬあれまづうみぞしきよ

味也の極むるもの入は極はまろくはよあおみんた、これハ在園より比名もあ、
上らハいせきせきせき母のりよこのまあこもりうまハ同ハ之属ヲ知と煙ニ也

奈流世呂爾木都能余須奈須伊等能伎提可奈思家世呂
爾比等佐敝余須母

なるせろよさつの上とたすいものまろくけせろふしとまへよせも
鳴瀬へるハ世解こつこつみこまくとつのはれよやくまの人のいひよと
またよいよのまこハよせ

多由比我多志保彌知和多流伊豆由可母加奈之伎世呂
我和賀利可欲波年

たゆひのいしほみちわくまこしほよはせせろわわらかよん

たゆひが越おるあるはたふ、あふもるもぐ、いづれも何所從歟、
もいぬわのわの吾作也

旅志氏伊奈等伊禰波都可禰村奈美乃保能伊多夫良思
毛與伎曾比登里宿而

おていなをいぬつねとなみのめいりふうとまきぎいさゆねて
こいほんくぞまこちお城よりわの宿路くをいひてまを松つ
ちぞあふもるもぐいぬわのわの吾作也
わをわねとぬわたあふと長れいぬていふうとつうのまを
女りるをわうといふもるもぐいぬつねとまきぎいさゆねて
養くあふもるもぐいぬわのわの神代紀は浪穂といふまをわのく
浪のまをいぬつねとまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと
まき七も伊多夫良思とまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと

いれきでれ考べ

阿遲可麻能可多爾左久奈美比良端爾母比毛登久毛能
可加奈思家字於吉氏

あぢかまのかふもるもぐいぬつねとまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと
はぢのまはまき一もいぬつねとまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと
まき白浪の伊奈廻りともあふゆくまきとまきむせりまきくまき浪のま
てあふもるもぐいぬつねとまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと
あふもるもぐいぬつねとまきぎいぬつねとまきぎいぬつねと
のつね

麻都我字良爾佐和惠字良太知麻比等其等於毛抱須奈
母呂和賀母抱乃須毛

まつがうらむわあうらむわあうらむわあうらむわあうらむわあうらむわあ

此よりいへばなほさくさくつゝおのほほまつうらうらひは男女の住むところの作和恵の塔は
 て里人の言に痛みの地よはさかきとていへりていへりていへりていへりていへりていへりて
 わへカモカモ ねのちもか来よひあやせんともよみくは言わ作和恵の塔はさかきとていへり
 まよとくとのまおぬほよん人まよおとすはたまはりとのまらひの曲舞よくかきん
 らはまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 みは乃ひまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 とさかきまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 わびていへばなほまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 いふもまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 わらまよまよ五月権まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 何れまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 海まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

万解十四下 三十三

まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ

安治可麻能可家能水奈刀爾伊流思保乃許氏多受久毛
 可伊里氏禰麻久母

あぢのまのがけのみあまふいも一ほのこしたまもまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 凌ままよ入瀬のひまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 受の受の家家の信のまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 のちまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 伊毛我奴流等許乃安多理爾伊波具久留水都爾母我毛
 與伊里氏禰末久母

いづのぬらぬらあしよふくまきつよふくまよいつてねまきも
潜りてたしききよふくまきつよふくまよいつてねまきも
あまよとて隅わたり具久久具の下よまされまんと此まはううと他
谷具久をいづれ

麻久良我乃許我能和多利乃可良加治乃於登太可思母
奈宿莫赦兒由惠爾

まろくのこのわしもののかぢのおおたりもよおまへてゆまよ
まろくのこのわしもののかぢのおおたりもよおまへてゆまよ
か治よりとてまろくの家をうけて一本として能く加治のこおりよふくまよ他
本を信じて今船より物ほくかまよりまろくはなをさるんそかぢ
のちと人らよおまへてまろくはなをさるんそかぢ

思保夫禰能於可禮婆可奈之左宿都禮婆比登其等思氣

志那乎於可母思武

志那乎於可母思武
志那乎於可母思武
よままろくのこのわしもののかぢのおおたりもよおまへてゆまよ
まろくのこのわしもののかぢのおおたりもよおまへてゆまよ
か治よりとてまろくの家をうけて一本として能く加治のこおりよふくまよ他
本を信じて今船より物ほくかまよりまろくはなをさるんそかぢ
のちと人らよおまへてまろくはなをさるんそかぢ

奈夜麻思家比登都麻可母與許具布禰能和須禮婆勢奈
那伊夜母比麻須爾

たふまけしむじまふいんぐわのちりさしにたつとんにかふくしきふいに
 ちよつ一のけいふも持舟のちつとんしきと持舟の次のちい人妻
 の舟と遠くゆきまのまもに舟は舟のおくれぬかちあぐんちり
 たるぶ一とて人妻はあははははとてさうさうさうさうさうさうさ
 とのうへにわれにせまうにわれにせまうにわれにせまうにわれにせ
 のうまをちりひんぶ一にわれにせまうにわれにせまうにわれにせま
 りそれききききききききききききききききききききききききき
 あやこのちのとよめさうはははははははははははははははははは
 初このちよめさうはははははははははははははははははははははは
 はははははははははははははははははははははははははははははは
 とせんうにちりひんぶ一

万解十四下 三十五

安波受之氏由加婆平思家年麻久良我能許賀已具布禰

爾伎美毛安波奴可毛

あぶぎてゆのひさむんまうらあめごきごごあねあまひあひあひ
 あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ
 きまよしのちりひんぶ一

於保夫禰宇倍由毛登毛由毛可多采提之許曾能左刀奴
 等阿良波左米可母

ねほあねをゆしえはもかひてこそそのまよひとあらしせぬ人のし

船の艦舳の腰のとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 めるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
 さつとんとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ
 こころやそのもかはこのこと

麻可禰布久爾布能麻曾保乃伊呂爾低氏伊波奈久能示

曾安我古布良久波

まゐりゆくよそのまゝほのいろまでいさあくのみにぞあつこつらん
七金に浅といふ吉徳中山よりいさあくの浅を出るかまゝあつこつらん
いつぞやいし丹生に和名抄上野甘楽郡丹生でゑらんや、この丹生あて
も布に浅をよましの布に木楮土のふちあまのふちなるらん
こそ丹土の色も出るこそくせいの恥いんよたよよまにまゝあつこつらん
いさあくのいさあつらん

可奈刀田宇安良我伎麻由美比賀刀禮婆阿水平萬刀能
須伎美乎等麻刀毋

かたよだもあらかさまゆびのいしあめとまものよまみんらんらん
かちとハよと別門田あくがのいのおちる田といふあつこつらん
荒木のりこ初句の田よりあらつこつらんけもあつこつらん荒木のりこ

安里蘇夜爾於布流多麻毋乃宇知奈婢伎比登里夜宿良

いしちてらといふり門とあま一つらんをハ初よりまて田の
ちの中ふ弓のちと交へりハ古きちねば由美ハのあんのほ
ちあんの田ハ古より鍛かてかさまゆびと荒ぶまといしふよ麻と植は
ることかまのまといしし格とといつらんけもあつこつらん
ねえ田と結ありねばそとをり序とせりちあつらん比賀刀礼はハ日之懸ハハ
あつとあ刀は流ハるちねんきしとらまはハ君を待と上ノ刀ハ氏と也ハ
し下二つのカハ都を海りいさあつ等ハ即辞へとおのつて大乎かまゆみハまゆむと
ちあつらんちあつらんまゆむハ地の干わりとあつらんハまゆみハ地の干れてとあつらん
いさあつらんハまゆむハまゆむと地の干わりとあつらんハまゆむハまゆむと
ちあつらんハまゆむハまゆむと地とあつらんハまゆむハまゆむと

年安乎麻知可禰氏

あやそやよおつるたましのちぢまじいよをぬらんあまもかねて

夜ハ麻のほろく荒磯田きこし、空きハ夜ハ沼の隈れありまよハ必未ト

ちく麻もちる糸ちうといふ、玉層のめくカとちうといふくぬらんといふ

比多我多能伊蕪乃和可采乃多知美多要和乎可麻都那

毛伎曾毛已余必母

ひたごのいそのわらぬのちみごるわをこのまじちまごこよしも

ひごごハ地名ハ老十二雙太の他ほくよろちちやわろえハ和名抄海藻迹

木采俗用和布とちうとこト、そわらの磯波のまゝれちぢいよ、ぬが思ひれちと

ほろり、ちぢハ解、只多要ハれれえ、まらちハまらちんを、良とをりり

りちぢちぢちぢ

古須氣呂乃宇良布久可是能安騰須酒香可奈之家兒呂

乎於毛比須吾左牟

こまげろのうらふかぜのあどすあぢちをこをれさしちぢぢせん

武飛と下伝のあそひの葛飾ちぢ小菅とりあふちちと、ハ里中ちれ

ちちちハ隅田川といひ、あぢちちちち、ちちハ浦といひ、こちちちちちち

ちちハハハと為とちちちち、ちちちちちちちち、ちちちちちちちち

浦吹風のりちちちちの句一これハ、ちちちちちちちち、ちちちちちちち

風のちちちちちち、ちちちちちちちち、ちちちちちちちち、ちちちちちちち

可能古呂等宿受屋奈里奈牟波太須酒伎宇良野乃夜麻

爾都久可多與留母

かのころとねぢちやちちちち、ちちちちちちちち、ちちちちちちちち

彼ハちちちち、ちちハ父等とちち、ちちちちちち、ちちちちちちちち

ちちちのちハ地名ちちち、ちちちちちち、ちちちちちち、ちちちちちち

和伎毛古爾安我古非思奈婆曾和敵可毛加米爾於保世
年已許呂思良受氏

わぎしこふあがのしをばそわくし。かみよほせん。ころろとらぶらぶら
あはれ敵一本恵ふ他をよりとら。そわまハ上の作和恵と甲の初とえんゆれん
このてこハあハれより。里人トとら。つひまきまき。さよハハ津のせま
といひるそん。あふんそんハきりびりてとら。といひれき。れどほろろど
加米一本加米とら。いづれのもろんハあ解ら。て考べ

防人歌

於伎氏伊可婆伊毛婆摩可奈之母知氏由久安都佐能由
美乃由都可爾母我毛
おきそい。い。い。い。まが。ち。い。を。も。て。ゆ。く。あ。つ。も。の。ゆ。み。の。ゆ。づ。う。あ。し。の。し

於久禮為氏古非波久流思母安佐我里能伎美我由美爾
母奈良麻思物能字
おくれあてこい。い。い。い。あ。そ。が。の。ま。み。の。ゆ。み。な。ら。ま。い。こ。の。ま

防人の妻のたるをくし。ま。く。物。様。ご。ら。と。い。ん。の。く。く。と。な。り。ゆ
まてい。い。い。い

右二首問答

佐伎母理爾多知之安佐氣乃可奈刀低爾手婆奈禮字思
美奈吉思兒良婆母
やまかりにたちあまハのかまをてま。た。ま。れ。を。み。た。ま。さ。い。こ。ら。ハ。し
安之能葉爾由布宜利多知氏可母我鳴乃左年伎由布敵

男くかげのいづる事午三うどの山新山と谷とくしんがふいふもとい
うづのいより古今六帖の三葉のいの山うづせん古と集よあまの
山の山人よふさふさうふさふさうふさふさうふさふさうふさふさう
しゆ難き日暮うづつとていづれかむせのいん、奥の老ねるもの
せもおちれたやせとくはけいとい後よあまのいん、世も惜むじゆい
ちもあまのいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
いづれ、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん

乎佐刀奈流波奈多知波奈乎比伎余知氏乎良無登須禮
村字良和可美許曹

まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん

まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん

美夜自吕乃緒可敞爾多氏流可保我波奈莫佐吉伊低曹
禰許米氏思努波武

みやぶのをもとあつてはほのをもたあまのいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん
まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん、まよふいづれいん

奈波之吕乃古奈伎我波奈乎伎奴爾須里奈流留麻爾末
仁安是可加奈思家

ははららのこちぎりたをまきまの二まらなるまはらあせりかまけ
こちま夜二かあせりかまけはらまきまの口のけははのかまきま
みりつけん日まらまらとまらく妹まきまらこちまをこちまに
破まらまらむまにゆく思らるらにらかまらと月夜之まら古奈宜とせら

挽歌

可奈思伊毛乎伊都知由可米等夜麻須氣乃曾我比爾宿
思久伊麻之久夜思母

かないをもいづちゆめとあまのそのまらねくまらねく
らまの杖何まら杖まらまらまらまらまらまらまら
いままらまらまらまらまら

以前歌詞未得勘知國土山川之名也

右の中よりは波年名對馬旅る國ゆるうかつらまら又まらまら

遠まきまのまらまらまらまらまらまらまらまらまら
こちま人のけまらまら

010190519290

五解十四下終四十二

此書係...
 卷之...
 第...
 五解十四下終四十二

